

埋文よこはま 12



財団法人 横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター 平成 17 年 9 月 30 日発行

杉田東漸寺貝塚を再び発掘！

占の骨が出た！

占の骨が、発掘してきた貝や骨を鑑定してもらうために確認作業をしていたものの中にありました。春に横浜市磯子区の杉田東漸寺貝塚を掘りました。そこから出土した土器・石器・鉄器などとともに、貝・動物の骨も沢山

出ていました。シカの骨もあり

ました。調査員の一人は

シカの骨が占に使わ

れることを知って

いたのでよく注

意をして見たと

ころ、肋骨の一

つに焼け焦げの

茶色の痕跡があ

りました。肋骨は

3 つに折れていまし

た。つなぎ合わせると一

本になりました。どの部分の肋

骨かは専門家に調べてもらわないと分りま

せん。しかし、内側を丁寧に削り、占のために点状に12か

所の焼いた痕がついていました。また、外側にも少なくとも

3 か所焼いたところがありました。これはト骨と呼んで

いるものです。杉田小学校の校庭の北側真中あたりにあつ

たD貝塚と名付けた近くから出ました。その付近からは古

墳時代前期の土器がまとま

って出ましたので、この時期の

ものとみてよいと思われます。

ト骨は弥生時代に稲作りと一

緒に大陸から伝わった風習の

一つです。占に使う骨はシカ

の肩のところの骨(肩甲骨)

が多いようですが、肋骨の

ものも少しあります。神奈川県

三浦市毘沙門洞穴や千葉県勝



占の骨(ト骨)



遺跡の場所

浦市こうもり穴洞穴などから発見されています。

発掘のあらまし

杉田東漸寺貝塚は平成15年度に杉田小学校の校舎部分を調査しました。この調査については『埋文よこはま』9で報告しました。今年度は校庭部分と体育館裏などに学校施設をつくることになりました。そこでその場所に昔の人々の生活の痕跡があることが分っていたので、調査の手

を入れました。4月25日から6月27日ま

での期間でした。発掘はおよ

そ700平方メートルの広

さを掘りました。古

墳時代前期、古

墳時代から奈良

時代、奈良時代

後期、中世の

遺構や遺物が

発見されました。

古墳時代前期の

遺構と遺物

古墳時代前期(今から

およそ1,700年前)では竪穴住居

あと1軒、溝状遺構3条、貝塚3か所などの遺構

と、甕形・壺形・高坏形の土器、槍先などの遺物が出土

しています。竪穴住居あとは校庭の中央やや南寄りのところ

にあり、粘土質の土の硬い面と柱穴2個があることから幅

5m60cmほどの大きさとみられます。遺物はわずかな量で

した。C貝塚は校庭の西部に5号溝状遺構の上部につくら

れていました。

調査範囲では2.2m x 1.0mの

広さを確認しています。貝

層の厚さは最

も厚い部分で

45cmをはかり

ました。中ほ

どに土混じり



C貝塚と5号溝状遺構



D貝塚と古墳時代前期の土器

の貝層を挟んで上と下に純貝層がありました。貝層はハマグリを中心に、カガミガイ・マテガイ・アズマニシキ・イタボガキがありました。とくに



鉄製の槍先?

アズマニシキとイタボガキはハマグリと捕れるところが違うのに塊でみられました。貝層の中からは古墳時代前期の土器と槍先と思われる鉄製品が出ました。

奈良時代後期の遺構と遺物

奈良時代後期の竪穴住居あとは校庭の中央やや西寄りのところで発見されました。調査の際に表土を取りのぞいている時にカマドの袖石が現われたために発見されました。おそらく方形の平面形の住居址で、幅が4m50cmの大きさとみられます。北側にカマドをもうけていたとみられ、袖にはシルト岩製の袖石が置かれていました。調査したトレンチのなかでは柱穴などを発見することはできませんでした。遺物もごく少量でした。

中世のお墓

中世のお墓もありました。校庭の北部に45cm x 25cmの



アズマニシキ

範囲に人骨が集まったところがありました。人を葬るために地面を掘り込んだ痕はみられませんでした。また、人骨も下顎や大腿骨など比較的大きくがっしりしたものがまとめて置かれているようでした。おそらく前に調査した部分



イノシシのあごの骨

にみられた中世のお墓が何らかの事情で掘り返され、現われた人骨を改めて埋め直したとみられます。このために詳しい時期を知る遺物はありませんでした。

迷い込んだ鯨か

弥生時代の自然貝層が校庭の北部で発見されました。これは当時の海岸線がこのすぐ側まで来ていたことを示しています。また、今でも時々海岸に鯨が迷い込んで動けな



出てきた鯨の下あごの骨

くなっているニュースが伝えられます。大昔にも同じようなことがあったようです。校庭の南西部でそうした鯨の骨とみられるものが出ています。やはり弥生時代とみられます。こうした情報は当時の自然環境がどうであったか知るのがにきわめて貴重なものです。自然環境を調べている人たちと協力し合って明かにしていきたいと思ひます。

催しもののご案内



「横浜の遺跡展－弥生時代の集落と生活－」

港北ニュータウン地域遺跡群の発掘調査された弥生時代中期の集落と墓地などの遺跡から横浜の地で米作りを始めた人々の社会と生活について紹介します。

会 期 平成17年12月10日(土)から平成18年1月15日(日)まで

会 場 横浜市歴史博物館企画展示室

「平成17年度横浜市指定・登録文化財展」と同時開催

観 覧 料 無料

研究講座 「横浜の弥生時代 集落と墓地からうかがう米作りの開始」

講 師 武井則道(財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター調査研究員)

期 日 平成17年1月8日(日)午後2時から3時30分まで

会 場 横浜市歴史博物館講堂 定員170人

参 加 費 500円(資料代)

「街にねむる貝塚と古墳－横浜市北東部の遺跡展－」

横浜市北東部には、三ツ沢貝塚などの縄文時代の貝塚、軽井沢古墳などの古墳・横穴墓が多く分布しています。地域の特色である縄文貝塚と古墳を中心に、身近にありながらあまり知られていなかった地元の遺跡を紹介します。

展 示

会 期 平成17年12月21日(水)から平成18年1月15日(日)

12月29日(木)から1月3日(火)までは休館。最

終日の1月15日(日)は12時まで開催

会 場 かなっくホール(神奈川区民文化センター) ギャラリーA

開場時間 午前9時から午後5時まで毎日開館

会 期 平成18年1月20日(金)から2月12日(日) 毎週月曜日は休館

会 場 横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館企画展示室

開館時間 午前9時30分から午後5時まで。入館は午後4時30分まで

観 覧 料 無 料

講 演 会

三ツ沢貝塚発掘100年

平成17年は神奈川区の三ツ沢貝塚が、横浜に居留していた英国人医師N.G.マンローによって発掘されてから100年目にあたります。日本の考古学史上、最も古い頃の学術調査であり、調査の成果や着眼点には卓越したものが多々みられます。しかし、それらが広く知られることはこれまでありませんでした。この講演会では貝塚を専門とする研究者の方々を講師とし、三ツ沢貝塚の全貌に迫ります。

期 日 平成18年1月14日(土) 午後1時から4時30分(予定)

会 場 かなっくホール(神奈川区民文化センター)

参 加 費 無 料

この他に、土器片の拓本採りや勾玉作りなど、ご自分の手で埋蔵文化財に親しんでいただける体験学習と、展示会場および同時開催予定の「横浜の遺跡展」会場である横浜市歴史博物館など、数か所のポイントを回るスタンプラリーを企画しています。

関連パネル展示

神奈川区役所において、横浜市北東部の遺跡を紹介するパネル展示を行います。

会 期 平成17年12月20日(火)から平成18年1月15日(日)

平成17年12月21日(水)・28日(水)・平成18年1月11日(水)は他の団体のイベントが開催されるために展示は行いません

会 場 神奈川区役所区民ホール



講座 横浜の考古学

申込み受付中

◎埋蔵文化財センター職員による講座です。

◎発掘調査された遺跡を紹介し、横浜の原始から中世を考えます。



第1回	11月10日(木)	都筑区大高見・小高見遺跡 縄文集落と土器の解説	山田光洋
第2回	11月17日(木)	金沢区称名寺貝塚とその時代	石井 寛
第3回	11月24日(木)	磯子区三殿台遺跡と米作りをはじめた人びとの生活	武井則道
第4回	12月1日(木)	都筑区北川表の上遺跡と古代の遺構群	鈴木重信
第5回	12月8日(木)	都筑区上の山遺跡と中世の葬制	坂上克弘

日時 平成17年11月10日～12月8日、毎週木曜日 連続5回 午後2時から午後3時30分

参加条件 5回参加できる方

参加費 2500円(資料代)

会場 横浜市歴史博物館 講堂

(市営地下鉄「センター北」駅下車徒歩5分)

定員 140名

締切日 10月20日 必着

応募方法 往復はがき(一人一枚)に住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、「横浜の考古学」と明記の上、埋蔵文化財センターまでお申込みください。応募者多数の場合は抽選となります。

締切後、受付番号を付けたはがきを返送します。



埋蔵文化財センターのご案内

出土品や整理作業のようすを見学できます(予約が必要です)。埋蔵文化財や歴史に関する質問も歓迎します。

開所：午前9時～午後5時。土・日・祝日休み。

交通：東横線「綱島駅」より東急バス1番乗り場「勝田折返所」行終点。田園都市線「江田駅」より東急バス「綱島駅」行「勝田」下車。

ホームページアドレス

<http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/maibun/index.html>

*「埋文よこはま」は、横浜市内で発掘調査された遺跡や出土した遺物を紹介する広報紙です。

埋文よこはま 12

発行日 2005年9月30日

編集・発行 財団法人横浜市ふるさと歴史財団

埋蔵文化財センター

〒224-0034 横浜市都筑区勝田町760

TEL 045-593-2406

FAX 045-593-2403